

Shokuhin News -2008 February-

神戸大学 農学部 生物機能化学科 食品・栄養化学研究室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 電話 078-803-6553 Fax 078-803-6553

e-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

農芸化学会関西支部例会 参加

2月2日(土)に京都大学・京大会館にて日本農芸化学会関西支部例会が開催された。食品・栄養化学研究室からは、宮本文生(M2)と前田太史(M1)が初めての口頭発表を行い、特に宮本にとっては修士論文発表会前の良い準備運動(?)となった。

前田がコメント。

「聴衆の方々との距離が非常に近いこともあり、とても緊張しましたが何とか発表することが出来ました。関係の先生方には本当にお世話になりました。どうもありがとうございました。」

前田 太史

修士論文発表会

2月22日(金)に修士論文発表会が開催された。平成19年度の修了(予定者)は岡本真弓、尾崎嘉昭、宮本文夫、横山明幸の4人。それぞれが思いをかみ締めながら、堂々と研究成果を発表した。



修論発表を行う岡本(M2)

【修論タイトル】

岡本真弓

Protective effects of horseradish leaf extract on carcinogenic initiation

尾崎嘉昭

Studies on metabolism of dietary fucoxanthin with analysis of tissue distribution

宮本文夫

Study on induction of apoptosis by novel metabolite of quercetin in human leukemia HL-60 cells

横山明幸

Study on the better combination of dietary flavonoids to escape glucuronyl conjugation and increase the bioavailability

修士論文発表終えた修了生の岡本と宮本から一言。

「マドンナと呼ばれて早3年が経ちました。マドンナの称号を田中さんに譲ります。」

岡本 真弓

「研究室の皆様、大変お世話になりました。心身の健康にはくれぐれも気をつけて頑張ってください。本当にありがとうございました。」

宮本 文生

卒業論文発表会

2月27日(水)に卒業論文発表会が開催された。一年間を研究室で過ごし、大きく成長した4回生が自分の一年間の全てを発表した。



若干、緊張気味に発表を行う的場(B4)

【卒論タイトル】

東陽介

フコキサンチンは HepG2 細胞でアポトーシスを誘導する

田港麻祐子

フコキサンチンの酸化的腎障害予防効果

的場祐衣

マコンブ由来フコイダンに対するモノクローナル抗体の作成

それでは卒業論文発表を終えた4回生から一言。

「卒論発表ではすごく緊張しましたが、無事終わってほっとしています。この研究室で学んだことを今後活かしたいと思います。一年間、ありがとうございました。僕はこの研究室が大好きです!!」

東 陽介

「一年間お世話になりました。たくさんご迷惑おかけしましたが、こんなに内容の濃い一年間は人生初でした。ありがとうございました。」

田港 麻祐子

「1 年間という短い間でしたが、楽しみながら過ごすことができました。ありがとうございました。」

的場 祐衣

論文・発表報告

学会発表)

日本農芸化学会関西支部第453回講演会、2月2日(土)、京都大学・京大会館

○宮本文生、羽渕祥子、森敦美、橋本堂史、金沢和樹「食事ケルセチンの代謝変換による生理機能の変化について」、講演要旨集 P11

○前田太史、水野雅史、尾島孝男、橋本堂史、金沢和樹「新規に構築した腸管免疫モデルにおけるマコンブ由来フコイダンの免疫調整機能の検討」、講演要旨集 P12

編集後記

別れと出会いの季節がすぎました。本研究室でも卒業生に代わり、新メンバーが活躍しています。新しい一年もどうぞ宜しくお願いします。

M1 前田 太史